

すもと 市議会だより

第 8 号

平成20年4月15日

編集発行 洲本市議会
TEL 0799-22-3321(代)
FAX 0799-22-3092

// 3月定例市議会 //



菜の花まんかい<市の花>

平成20年度予算総額は397億1,132万円

正副議長、常任委員会委員など議会役員を改選

洲本市基本構想は特別委員会を設置し、閉会中の継続審査に

予算のあらまし

平成20年度当初予算(概算)

会 計	予 算 額	前年度比較
一般会計	209億1,000万円	15.5%減
特別11会計	159億1,709万円	20.0%減
水道事業会計	28億8,422万円	7.3%増
計	397億1,132万円	16.1%減

主要事業

《創意に満ちた活力ある交流・産業のまちづくり》

元気な観光創造事業	1,700万円
阿久悠氏関連事業	2,000万円
農作業受託組織育成基金	500万円
元気な商工業創造事業	1,324万円

《安全で快適な生活のまちづくり》

まちづくり交付金事業	3,510万円
生活バス路線運行助成事業	2,900万円
水道事業会計経営支援補助	2,500万円
緊急地震速報受信装置導入事業	250万円

《ともにつくる参画と協働のまちづくり》

元気のもと基金助成事業	2,500万円
五色地域活性化連絡協議会補助	500万円
ひょうご田舎暮らし・多自然居住支援事業	50万円

《豊かな自然と共生するまちづくり》

景観サポーター育成事業	75万円
菜の花エコプロジェクト推進事業	865万円
合併処理浄化槽設置補助金	8,299万円

《こころ豊かな人を育む教育・文化のまちづくり》

スクールアシスタントの設置拡充	1,797万円
五色中学校耐震改修等実施設計	1,045万円
“ひと・まち・自然”スポーツ交流事業	100万円

《健やかで生き生きと暮らせるまちづくり》

放課後児童クラブの運営	2,244万円
由良保育所改修工事	1,575万円
特定健診・特定保健指導	2,350万円
後期高齢者医療広域連合納付金	10億6,859万円

3月定例市議会は、3月3日から3月26日までの24日間開催されました。冒頭に市長の施政方針、教育長の教育行政方針が示され、議案については、新年度予算、条例の一部改正など計51件が上程されました。第3日目には、補正予算にかかる追加議案11件、第4日目には、契約に関する追加議案1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決いたしました。

引き継がれた地域おこし支援基金の運営委員会が開かれ、基金1億3000万円のうち、阿久悠氏を顕彰する事業に8000万円を充てるという計画が了承されている。この8000万円のうち、新年度予算に2000万円が計上されているが、残りの6000万円も含め、どのような事業を考えているのか。

また、昨年、11月4日に五色庁舎の文化ホールで行われた阿久悠氏をしのぶ集まりで、市長は8月1日の命日前後に市として、何かイベントを行いたいと言言されていたが、その計画は、

また、正副議長の辞職に伴う選挙を実施しました。なお、今回は8名の議員が一般質問に立ち、理事者に対して行政のあり方や施策の考えなどをたずねました。

紙面の都合からその一部を要旨で掲載いたします。

一般質問 要旨

まちづくり

阿久悠氏の顕彰

◎ 昨年末、旧五色町から

▲ 予算計上された2000万円は、どのような事業が観光振興につながり、阿久悠氏の顕彰になるかを検討する実行委員会への補助



菜の花ホールでの阿久悠展

金とし、残りの6000万円については、実行委員会の検討状況や、実施事業の内容に応じ予算を計上したいと考えています。

また、故人の命日近くに淡路島まつり、高田屋嘉兵衛まつりが実施されていることから、これらの祭りの実行委員会と相談し、何か故人をしのぶ催しができればと考えています。

定住人口の増加

◎ 定住人口の増加策として、淡路島、洲本にいる子どもたち、若者たちが、将来この洲本で住めるような環境づくりをすることが大切ではないか。仕事がなければ、仕事は神戸、大阪で頑張り、祖父母も含めた家族の団らんを洲本ですという形が理想と思う。そのため、洲本から神戸、大阪に早く、安く行けるように自動車道の料金引き下げ要請や、パーク・アンド・ライド施設などの整備をしてはどうか。

▲ 過去には、定住を促進するため、阪神間への通勤通学等を支援した施策を実施したこともありすが、定住対策の根本は、その地域内に職場があり、学校に

通うというのが原則であり、本市の商工業、農業などが活性化することが重要と考えています。

医療問題

市立淡路病

小児救急患者夜間受入休止

◎ 新聞報道で県立淡路病院が小児救急患者の受入を午後10時から翌日午前9時の間休止するとの発表があった。医師不足などの事情も察することはできるが、安心できる体制の確保が早急に求められる。この件についての市としての考えは、

▲ 島内3市と広域消防も含めて相談した結果、短期的には、今回の変更についての市民への周知、命に関わる重篤な場合の受入先の確保、中期的には、利用者のモラル向上、例えば軽微なことでの救急車利用や昼間待たされることを避けるための夜間救急外来の利用などをやめていただくというような啓蒙、長期的には、今回のようなことが小児科以外にも拡大し、全体が夜間対応できないというような事態を避けるため、3市、広域消防、県民局、県立淡路病院といった関係機関との連絡を密にして協議をし

肺炎球菌ワクチン

◎ 高齢者の肺炎は、重症化しやすく、死因の上位にある。高齢者の肺炎の原因の多くは、肺炎球菌によるもので、これを予防できれば、高齢者の死亡は激減すると言われている。北海道のせたな町では、65歳以上を対象に肺炎球菌ワクチンの予防接種への公費助成を開始し、医療費削減に繋がった実績があり、全国でも64市町が公費助成を行っている。本市でも公費助成することはできないか。

▲ 肺炎球菌ワクチンの効果については、残念ながら完全に確立されたものでなく、公費助成についても本県では1市町も取り組んでいません。加えて定期予防接種の対象からも外れていることから、現在のところ公費負担の考えはありません。

道路行政

スマートインター

◎ 本市の活性化の一助として調査が進められていた簡易インターチェンジ、別名スマートインターは、本

四中原高速バス停留所を念頭に本年度調査がされたが、どのような結果が得られたのか。



本四高速中川原バス停

▲ 本四中原高速バス停留所に接続するスマートインターの計画は、バスの停車ゾーン、減速ゾーンを利用するという計画で、今回調査として関係機関である本四高速、県土木局高速道路室、洲本土木事務所、また、県警本部、洲本警察署の5つの部署と延べ9回にわたって協議を行いました。その結果、バスレーンを共用してのスマートインター設置は、安全面が十分でないという理由で県警本部から許可をしない方針であるとの結論が出され、方向転換、仕切り直しを余儀なくされている状況です。

加茂中央線について

Q 本年から、洲本川の橋の架け替えがはじまり、国道等が非常に渋滞すると危惧している。加茂中央線の早期開通によって渋滞が緩和されると思うが、開通見通しは。また、橋の架け替え工事に伴う渋滞をどう考えているのか。

A 現在、新淡路病院から県道洲本五色線の交差点までの590メートルが未整備区間となっています。この区間については、用地の買収、文化財の調査、異川にかかる橋梁整備を順次進め、供用開始目標を平成22年度末としています。また、洲本川河川整備に伴う国道等の渋滞対策については、県において仮設道の設置などにより、緩和策を講じていただいています。

財政運営

県行革の影響

Q 県は、財政悪化を公表し、行財政改革プランを策定し、再建を目指しているが、県から補助、助成金等を受ける本市の行政は、財政的に、施策的によい影響を受けるのか、見通

しを含めて伺いたい。

A 県が2月に策定した新行革プランによる本市の平成20年度当初予算の事務事業等に対する影響額は、1100万円程度と考えています。具体的には、障害者小規模通所支援事業、スクールアシスタント配置事業等の補助率が変更され、市の負担が増える見込みです。また、県が本市域で実施する投資事業についても影響が出るものと考えます。



兵庫県淡路県民局洲本総合庁舎

子ども・教育施策

学童保育の有料化

Q 学童保育事業の利用料金が今までの無料から新年度から、月額3000円になるとされているが、その理由は。また、児童が学校帰りに飲物やおやつを買っ

たりしているの、有料化にあわせて、おやつを提供してはどうか。

A 学童保育サービスについては、利用されない方もまだ開設していない校区もあり、公平、公正の観点からも受益者負担ということをお願いしています。また、おやつを提供については、現在考えていません。

給食の食材

Q 発育盛りの子どもを持つお母さん方から、給食食材の生産地や安全性について心配という声がある。本市における給食の安全と安心への取り組みと食材生産地のチェックはどのようにしているのか。

A 学校給食の食材については、可能な範囲で国内産の食材を基本とし、やむなく国外産食材を使用する場合は、産地証明を取り寄せ原産国を確認した上で使用するようにしています。また、食材の調達は、共同購入や各調理場で地元業者からの購入をしています。

学校規模の適正化

Q 年々進行する少子化と教育環境の整備は大きな課題である。子どもたちが切

磋琢磨できる環境を整備するため、統廃合も含めた学校規模の適正化が必要と考えるが、教育委員会では検討をしているのか。

A 今後、児童、生徒数の減少が予想されることから、校区の見直しや、学校の統廃合も大きな課題と考えています。新年度には適正な学校規模や給食未実施校への対応及び調理場の再編等について検討委員会を設け、その報告を受けて教育委員会の方針を考えたいと思います。

広域行政

水道一元化

Q 2年後の平成22年度をめどに島内水道事業の一元化が計画されている。平成20年度から本格的な協議が行われると聞くが、本市としての一元化に対する基本的な考えを伺いたい。

A 水道事業については、安全で良質な水を安定的に供給することが、第1の使命であり、適正な事業運営を行うためには、財政基盤の充実が大事な要素であると考えます。今後は、構成3市以外の方に調整役をお願いし、公平な立場で財務

産業施策

観光資源の開発

Q 施政方針では、本市の観光資源の開発、特に東海岸の開発をするとされているが、どこを重点的に開発、活性化をするのか。また、大浜公園周辺に照明を設置し、公園の魅力アップすると聞いたがどこに設置するのか。



洲本城址

A 大浜公園から由良生石地域にかけて開発計画を策定する予定です。すでに成ヶ島については、公園の整備も進み、生石地域についても、砲台跡、弾薬庫跡などが見学できるテラスの整備なども予定され、完成すれば新たな観光資源になる

状況等を評価していただき、一元化を円滑に進める必要があると考えています。

漁業振興

Q 水産業については、築いそ、稚魚・稚貝の放流等の事業がこれまで実施されてきたが、不漁、燃料費、資材の高騰などによって、水産業自体が衰退し、大変深刻な状況にある。抜本的な対策を講じない限り、現状からの脱皮はできないと考えるがどうか。

A 本市の水産業の現状は、漁獲金額が、平成元年から昨年までで12億円程度減額し、漁獲高についても、870トンの減少となっています。こうしたことから、つくり育てる漁業を推進すべく、ヒラメ、アワビ、サワラ等の中間育成放流事業、築いそ事業等を行ってまいります。加えて、県営事業で養殖場の整備、産卵用のたこつぼ投入事業も行っており、事業の計画的な実施により漁獲量の減少が緩和されるものと考えています。

予算審査特別委員会報告

予算審査特別委員会（土井敏雄委員長・廣田恵三副委員長）は19人の委員で構成され、新年度の各会計予算について4日間にわたり、主要な施策、事業を中心に審査が行われました。委員会では、安心できる救急医療体制の早期確立、元気な洲本創造事業の積極的な展開、後期高齢者医療制度の周知、水道事業の効率的経営等についての意見が出されました。これらの意見が新年度の施策実施、予算執行に生かされるよう、理事者に対して強く求めました。

請願

『公共工事における賃金等確保法』（仮称）の制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書提出を求める件」と12月定例会から継続審査となっていた「高齢者医療制度の実施凍結を求める請願」の2件を、いずれも全会一致で採択、同じく12月定例会から継続審査となっていた「高齢者に負担増と差別医療を強いる2008年4月実施の後期高齢者医療制度の中止・

撤回を政府に求める意見書採択を求める請願」は賛成少数により不採択と決しました。

意見書

「公共工事における建設労働者の適正な労働条件確保に関する意見書」及び「高齢者医療制度の見直しを求める意見書」の2件を、いずれも全会一致で可決し、内閣総理大臣、厚生労働大臣等、関係機関に送付しました。

人事議案

教育委員会委員
・高田 眞紀子 氏
監査委員
議員のうちから選任する者

・先田 正一

南あわじ市・洲本市
小中学校組合議会議員

・竹内 通弘・奥井 正展

・片岡 格

選挙

議長

・和田 正昭

副議長

・岡崎 稔

洲本市・南あわじ市
衛生事務組合議会議員

・竹内 通弘・土井 敏雄

・木戸内良夫・木下 義壽

・山崎 眞靖

各委員会の委員

（○委員長 ○副委員長）

総務常任委員会（7人）

◎名田 英樹○木戸内良夫

・平田 功治・土井 敏雄

・岩橋 久義・奥井 正展

・先田 正一

教育民生常任委員会（7人）

◎氏田 年行○畑 啓治

・和田 正昭・竹内 通弘

・山崎 眞靖・柳 雅文

・片岡 格

産業建設常任委員会（7人）

◎山本 和彦○廣田 恵三

・地村耕一良・木下 義壽

・笹田 守・小松 茂

・岡崎 稔

議会運営委員会（7人）

◎木下 義壽○片岡 格

・平田 功治・竹内 通弘

・地村耕一良・岩橋 久義

・先田 正一

人権擁護委員の推薦に同意

・福谷 陽一 氏

・藤岡 哲夫 氏

洲本市基本構想審査
特別委員会を設置

今定例会に提案された洲本市基本構想議案を審査するため、7人の委員で構成する洲本市基本構想審査特別委員会を設置し、閉会中に審査を行います。

委員会審査状況

総務常任委員会

一般会計補正予算では、歳入全般と、歳出では、洲本・関空航路確保対策補助金の計上等を。特別会計補正予算では、堺財産区特別会計等を。その他、定住・交流促進センターの設置及び管理に関する条例の制定等、18議案について、21日に委員会を開催。審査の結果、特別会計条例の一部改正、組織条例の一部改正の2議案は賛成多数で可決。その他の議案は全会一致で可決。

産業建設常任委員会

一般会計補正予算では、道路新設改良費の減額等を。特別会計では、土地取得造成特別会計等を。その他公共下水道事業受益者負担金条例の一部改正等、13議案について、19日に委員会を開催。審査の結果、いずれも全会一致で可決。

教育民生常任委員会

一般会計補正予算では、国民健康保険特別会計繰入金の追加等を。特別会計補正予算では、介護保険特別会計等を。その他、洲浜中学校北校舎改築工事請負契約締結等、20議案について18日に委員会を開催。審査の結果、福祉年金条例の一部改正、後期高齢者医療に関する条例の制定等10議案

予算審査特別委員会

新年度の一般、特別、企業の各会計予算計13議案について審査のため、特別委員会を設置し、11日から14日までの4日間にわたり委員会を開催。審査の結果、一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計の4議案は賛成多数で可決。その他の議案は全会一致で可決。

3月定例会の日程

3日（開会）本会議

・議案51件上程

7日 本会議

・質疑、一般質問5議員

10日 本会議

・質疑、一般質問3議員

・議案51件を付託

・議案11件上程、質疑、付託

・請願1件上程、付託

11～24日 委員会審査

25日 本会議・委員会審査

・議案62件の委員会審査報告、討論、採決

・議案1件上程、質疑、付託

・議案1件の委員会審査報告、討論、採決

・人事議案1件上程、採決

・請願2件の委員会審査報告、討論、採決

・請願1件の委員会審査報告、討論、採決

26日 本会議

・意見書案2件上程、採決

・議長、副議長選挙

・各種委員会委員選任、選挙等

・議案1件上程、質疑、特別委員会を設置、付託、閉会中の継続審査に決定

・議員派遣上程、採決

・閉会中の所管事務調査事項を決定

（閉会）